様式1-1-4_ダム下流

河川コード	8101020009
ダムコード	10100121200000
ダム名	留萌ダム

No.	項目	単位	試験方法	1月	2月	記入要領※
1	河川コード	－		8101020009	8101020009	河川コードを記入する。
2	ダムコード	－		10100121200000	10100121200000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	－		留萌ダム	留萌ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	－		2025/01/16	2025/02/17	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	－		ダム下流	ダム下流	調査地点を具体的に記入する。
6	調査開始時刻	－		13:33	12:51	調査の開始時刻を２４時間表示で記入する。
7	天候	－		曇	晴	晴，曇，小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃		-2.0	1.0	小数点以下第１位まで記入する。
9	全水深	m		0.43	0.44	採水位置の水面より底までの深さを１　/１０mまで記入する。
10	透視度（河川）	cm		>50.0	>50.0	小数点以下１位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m		－	－	小数点以下１位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	－		－	－	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m		－	－	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m^3/s		1.35	1.50	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m^3/s		－	－	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m^3/s		－	－	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	調査深度	－		2割水深	2割水深	調査深度を記入する。
18	採水位置（距離）	m		3.00	4.00	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
19	前日の天候	－		雪	曇	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
20	水位	m		17.52	17.53	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
21	採水水深	m		0.09	0.09	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
22	水温	℃	ベッテンコーヘル水温計による	1.7	3.7	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
23	天然水の色	－		無色透明	無色透明	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
24	外観（試料水）	－		無色透明	無色透明	採取した試料について、上水試験方法に示される分類等により具体的に記入する。
25	臭気（冷時）	－		無臭	無臭	採取した試料について、上水試験方法に示される分類等により具体的に記入する。
26	pH（at25℃）	－	ガラス電極法	7.3	7.3	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
27	BOD	mg/L	一般希釈法・よう素滴定法	<0.5	<0.5	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
28	CODMn	mg/L	100℃における過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	4.7	3.8	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
29	SS	mg/L	GFP濾過法	1	<1	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
30	DO	mg/L	よう素滴定法	12	12	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
31	DO飽和率（飽和度）	%	水中の飽和溶存酸素量(表32.1)より	86	91	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
32	大腸菌群数	MPN/100mL	BGLB培地直接MPN法	2.3E+01	2.3E+01	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
33	総窒素（T-N）	mg/L	ペルオキソ二硫酸カリウム分解-紫外線吸光光度法	0.60	0.56	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
34	総リン（T-P）	mg/L	ペルオキソ二硫酸カリウム分解-吸光光度法	0.029	0.018	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
35	大腸菌数	CFU/100mL	メンブランフィルター法	2	<1	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
36	濁度	度	積分球式測定法	2	1	数値の取り扱いについては下記※のとおり。
37	糞便性大腸菌群数（M-FC）	個/100mL	M-FC寒天培地法	1.0E+00	0.0E+00	数値の取り扱いについては下記※のとおり。

※数値の取り扱いについては、「河川水質試験方法（案）」に基づいて行うことを基本とするが、環境省が規定する値や手法、地方整備局の河川管理課または技術事務所で定めている場合もあることから、それらを参照する。